

・協議題

配慮を必要とする子どもへの手立てをどのようにするか

・総合学級に3年生(2名 男女1名ずつ)の生徒が入級している。生徒の実態に合わせて、総合学級で個別指導(支援)・学習を行い、また交流学級でも学習を行っている。

・重点的に実践していること

学習や学校生活に支障がないように、日常生活(基本的生活習慣の確立)と集団的行動の指導に力を入れている。(1年生の時から繰り返して指導している。)

1日のスタートの流れ(リズム)づくりの指導

登校 挨拶(礼) カバンから生活の記録、筆記用具を取り出し、机に置く

カバンを棚に入れる 朝読書の準備 朝読書の開始

衣服のたたみ方の指導

シャツやズボンを丸めて置くのではなく、きちんとたたんで置いたり、ハンガーにかけるなどの指導を繰り返して行っている。

トイレの指導

トイレの時間を設定し、ドアの開け閉め、スリッパの履き方(脱ぎ方)、排尿、ベルトの締め方、手洗いなどを繰り返して指導してきた。

最近は、1人でトイレにいけるようになっている。

清掃の仕方の指導

掃除の手順を掲示し、その流れにそって時間いっぱいできるようにしている。

集団生活の指導

全校朝会や行事等がある場合は、事前に黒板に流れや時間を書き、約束事(写真なども使用)などを何回も伝え、確認させて集団行動ができるようにしている。約束事をわかりやすく伝えるために、指示カード(行事の主な場面ごとの写真を取り、それをつづったもの)を作成している。(こだわりが強く、集合などの行動に時間がかかっている。スムーズに行動できるように今後も粘り強く繰り返し指導していきたい。)

学習の指導

障害や発達段階に応じて個別指導を行っている。

体育・美術・音楽の学習を可能な限り交流学級で行っている。